

本時のねらい

三角形の相似の証明について相似条件を理解し、証明ができるようになる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・ロイロノートを活用して、他の生徒の書き方や意見を共有し、様々な考え方を知ることができる。
- ・ロイロノートを活用して課題を返却することにより、短時間で前回の復習を短時間で行うことができる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレット PC
- ・教師用 PC
- ・テレビモニター
- ・ロイロノート

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○ロイロノートで前回提出した課題の返却をする。 ・ロイロノートで前回の授業で提出し、添削したプリントと模範解答を全員に送る。 ○めあての確認をする。 「相似条件を理解し、証明を書けるようになる。」 	<ul style="list-style-type: none"> ●教員はテレビモニターとPCの準備をし、生徒はタブレットPCでロイロノートにログインしている状態にしておく。 ●一斉に返却できるので、返却時間を短縮することができる。
展開 (40分)	<ul style="list-style-type: none"> ○相似の証明の説明を行う。 ・例題を使って相似の証明について解説する。 ・相似条件についても確認を行う。 ○相似の証明の問題を解き、ロイロノートで提出する。 ・自分の解答をカメラで撮影し、ロイロノートで提出する。 ・解答を共有し、様々な考え方や書き方について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●提出された解答をロイロノート上で画面共有する。 ●気になる解答などはロイロノート上で画面共有し、考え方などを発表させる。 ●提出された解答を教員がすぐに確認することができる。 ●生徒同士で他の人の書き方や考え方を見て、様々な考え方を知ることができる。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○ロイロノートで振り返りを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ロイロノートのアンケートを使って振り返りを行うことで、今回の授業での生徒の理解度がわかりやすい。

1人1台端末を活用した活動の様子

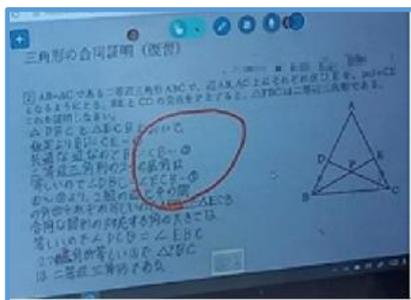


写真1：前回の課題を返却して確認している様子



写真2：本時の課題を写真に撮り、ロイロノートで提出しようとしている様子

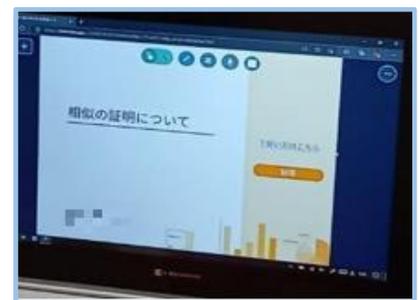


写真3：ロイロノートで振り返る様子

児童生徒の反応や変容

- ・自分の考えだけでなく、他の人の考えを知り、新しい発見があった。
- ・他の人の意見を聞くことで「いろいろな書き方や考え方があった」と学びを深めることができた生徒が多かった。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・解答を共有することで、自分の考えだけでなく、他の人の考えをたくさん知り、比較できることが効果的だった。
- ・教員が一度に全員の解答を確認することができ、気になる解答をすぐに見つけることができた。
- ・ロイロノートでアンケートを使った振り返りは見やすく、生徒の理解度がすぐに把握できるので、次時の授業の展開を工夫し、授業改善につなげることができた。